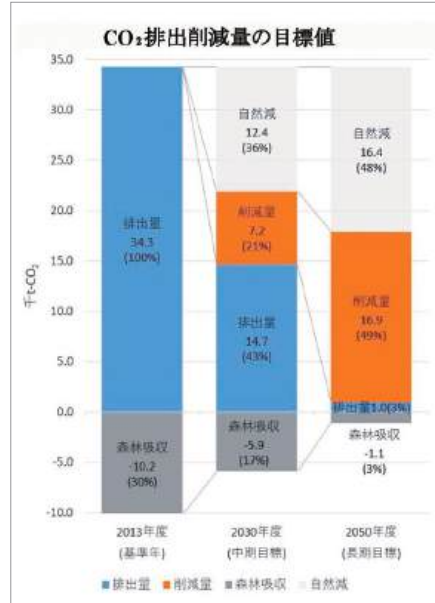


## 設備導入や計画づくり

創業時から、再エネや省エネ設備導入などのコンサルティングを続けてきました。いま「2050年カーボンニュートラル」実現にむけて、地方自治体は地球温暖化対策が強く求められています。行政施設のエネルギー使用量やCO<sub>2</sub>排出量の調査、地域全体で脱炭素化を進めるための具体的な計画づくりを支援しています。

## 高森町の計画づくりと事業実現

長野県高森町は2018年、行政が取り組む地球温暖化防止実行計画づくりに着手。その後、計画実現に向けた調査、町民や企業、行政と一緒に取り組む計画づくりを進めて、2022年に環境省「地域脱炭素化移行・再エネ推進交付金事業」に選定され、近隣自治体のモデルケースになりました。おひさま進歩社は2018年から継続的にこれらの計画策定を支援しています。



### 中川村地球温暖化対策実行計画

区域施策編から一部抜粋。まず現状のCO<sub>2</sub>排出量をリサーチ。村内で実現可能な再エネ、省エネ、森林吸収等の対策をもとに削減量の目標値を定めます

年度	自治体名	受託業務名
2021年度	長野県飯島町	地球温暖化対策基礎調査業務
	長野県高森町	再エネ導入戦略策定業務
	長野県高森町	地球温暖化防止実行計画策定業務（区域施策編）
2022年度	長野県喬木村	地球温暖化防止実行計画策定業務（事務事業編）
	長野県高森町	地域脱炭素化移行・再エネ推進交付金事業計画書等作成業務
	長野県飯島町	地球温暖化防止実行計画策定業務（区域施策編）
2023年度	長野県喬木村	地球温暖化防止実行計画策定業務（区域施策編）
	長野県高森町	地球温暖化防止実行計画策定業務（事務事業編）
	長野県中川村	地球温暖化対策実行計画策定業務（区域施策編）

### 受託実績（2021-2023年）

過去3年間で4町村をサポート。計画づくりから事業実施までサポートします



### 原村住民ワークショップ

原村ではロードマップ策定支援の一環で住民ワークショップを開催。地球温暖化対策を実現するために必要な行動を村民と事業者、役場が考える場です



### 中川村地球温暖化防止対策推進協議会

中川村では地球温暖化防止対策推進協議会の運営を支援しています



### 計画策定時の調査

高森町で行われた小水力発電の事業可能性調査。発電できそうな候補地点を絞り込み、採算性ある事業ができそうか調べます

## VOICE



### 自治体ゼロカーボンプロジェクト

太陽光発電所や水力発電所を開発している当社の経験を生かして、具体的に実現可能な計画策定を心がけています。

また、スタッフには自治体職員の経験者が複数おり、自治体の担当者と並走する気持ちで、コミュニケーションを密に取りながら仕事を進めています。業務の過程で何度もご訪問することで、自治体の新たな魅力に気づくことも多く、業務を担当する楽しみの一つになっています。



### 多田井 素さん(高森町建設課長／前環境水道課長)

2020年、パリ協定が締結されて国や県が加速度的に動き出していました。子どもや孫、未来のために温暖化を抑制する必要がある。町としても積極的な対策が必要だと考えました。職員だけでは専門知識が足りない。技術的、精神的に後押ししたのがおひさま進歩社で、実現に落とし込む手法を期待しました。2030年までに実現できそうで、高い目標値の計画を町民参加でつくることができました。先進的な取り組みをモデル的に進めた自負があります。他地域をけん引して、地球のために貢献していく町になればと思っています。



**パネルシアター**  
 県あかり保育園（飯田市）で開催したパネルシアター。  
 さんぼちゃんと省エネの大切さを学びます



# まなぶ・つたえる 環境学習

## 太陽光発電とパネルシアター

環境学習の始まりは、会社設立のきっかけとなったNPO南信州おひさま進歩が、太陽光発電を設置した保育園で行ったパネルシアター。子どもたちを通して家庭や地域で環境への関心が高まればとの思いからです。おひさま進歩エネルギーで引き継ぎ、2024年までに119ヶ所で上演、9,000人以上に見ていただきました。

## 発電所づくりと環境学習

太陽光発電を設置した公民館や学校、地域イベントで出前講座を開催して、地球温暖化や再生可能エネルギーについて一緒に考えます。2016年、再エネ人材育成を目指して飯田自然エネルギー大学を開校。各地で活躍するプレイヤーが育っています。



**子どもエコ講座**  
 デジタル地球儀スフィアを使った「子どもエコ講座」。地球の気象や平均気温の変化を映像で伝えます



**飯田自然エネルギー大学**  
 2024年、第5期がスタート。再エネ事業を目指す受講生が全国から集まります



さんぼちゃんはNPO南信州おひさま進歩のマスコットキャラクターとして誕生。名前は、おひさまの「SUN」、NPOや進歩、歩むに由来する「PO」をつなげました。パネルシアターやイベントに登場します。



### 旭中かや権の実チャレンジ

太陽光発電を設置した飯田市立旭ヶ丘中学校1年生の総合学習（2022年）。発電所見学会や地球温暖化を考えるワークショップを担当しました



## VOICE



### 環境学習グループ

地球温暖化の影響は私たちにとって身近なところにも表れています。世界の平均気温は毎年上昇しており、地球温暖化から「地球沸騰化」と呼ばれる時代になりました。

地球温暖化やエネルギーの問題について子どもたちが興味を持って考えるきっかけとなることを目指して、伝え方を工夫しながら学習をおこなっています。地球環境を守るため私たちにできることは何か、環境学習を通じてこれから先も地域に伝え続けていきたいと思ひます。



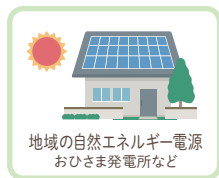
### 福岡恵子さん（鼎あかり保育園園長）

さんばちゃんと一緒に省エネ学習。「おうちの中に電気で動くものは何があるかな?」「冷蔵庫!」「こたつ!」など身近な電気製品が出てきました。「誰もいないときはどうする?」「こたつが熱すぎる時は?」「消す!」「ちょうどよくする!」と節電の声。「ゲームは長くしていない?」なんて質問も。「外で元気に遊んで、食べ物を残さず食べることが地球にも優しいことです。」と、日々の生活からエネルギーの大切さを学ぶ貴重な時間でした。

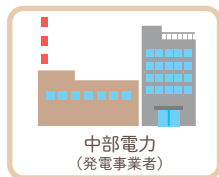


# 飯田まちづくり電力

## 電気をつくる

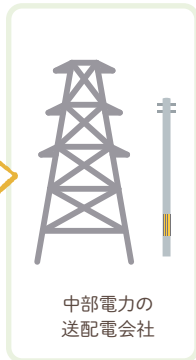


地域の自然エネルギー電源  
おひさま発電所など



中部電力  
(発電事業者)

## 電気を送る



中部電力の  
送配電会社

## 電気を売る



飯田まちづくり電力

## 電気を使う



一般家庭など

大・中工場、  
オフィスビルなど

### 電力小売事業の仕組み（電気の調達→まちづくり電力→供給先）

飯田まちづくり電力が販売する電気は、おひさま発電所や電力市場で調達した電気で作られています

## 地域の再エネ由来の電力を販売

飯田まちづくり電力(株) (代表取締役：原勉) は2018年、(株)飯田ケーブルテレビ、おひさま進歩エネルギー(株)、(株)飯田まちづくりカンパニーが立ち上げた新電力会社。南信州の太陽光発電、小水力発電が生み出した電気を供給しています。調達する電力の50%を飯田下伊那地域のFIT電気でもかかなうのが目標です。

## 小中学校や企業・個人宅と契約

2019年、飯田市と「地域エネルギーに関する包括連携協定」を結び小中学校など50施設へ電力小売事業を開始。2020年、同じく泰阜村とも連携協定を締結。2024年、契約数は公共施設や民間企業、個人住宅合わせて1,300件（11MW）まで伸びました。

## ゼロエミッション化を支援

2023年、飯田市の南信州広域タクシー(有) (通称アップルキャブ) はおひさま進歩社が設置した同社の屋根パネルの電力などを生かして、全国のタクシー会社で初めて、公共交通として運行するEV乗合タクシー4台のゼロエミッション化を実現しました。飯田まちづくり電力は同社へ非化石電力を販売して、この事業を支援しています。



電力調達先例 飯田市役所



電力調達先例 野底川小水力発電所  
公共施設や企業に設置された太陽光発電、個人住宅の卒FIT電気、野底川小水力発電所などから電気を調達します



**地産地消の  
ゼロカーボンEV導入**  
タクシー会社で全国初の  
ゼロエミッションタクシーを  
実現したアップルキャブ



## VOICE



### 飯田まちづくり電力株式会社

飯田まちづくり電力は、太陽光や水力の電気を販売して、地域のお客様に使っていただくことを仕事にしています。

おひさま進歩エネルギーとは別会社ですが、再エネを増やして持続可能な地域づくりに貢献するという共通の目標に向かい取り組んでおり、FITを使った再エネ普及拡大が難しい今、電気の販売先を作り、投資の予見性を確保することが私たちの役割です。エネルギーの地消地産を通じ少しでも地域が元氣になればと思います。



### 鈴木佳史さん

(**信州州広域タクシー-有限会社代表取締役**)

20周年おめでとうございます。昨年、私たちの会社では、飯田市の乗合タクシー全路線で脱炭素化を実現し、23年度のエコドライブ活動コンクールで国土交通大臣賞を受賞しました。全社員の地道な努力と共に、地域に根差した、おひさま進歩エネルギー様、飯田まちづくり電力様、さらにはそこに係わる人が同じ思いを共有し、協力した結果、素晴らしいシステムを構築できたと思っています。こうした流れが周辺地域や他の業界にも広がれば良いと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。

# おひさま進歩 20年の歩み

2004年	2月	飯田市内の有志が「地球温暖化防止するため市民としてできることをやらまいか!」とNPO法人南信州おひさま進歩を発足
	12月	環境省に選定された飯田市の事業を担う民間企業として、NPO法人南信州おひさま進歩が母体となり、おひさま進歩エネルギー有限会社設立。事務所は、いとうや3階（飯田市本町）に置く
2005年	5月	日本初の太陽光発電普及のための市民出資「南信州おひさまファンド」を立ち上げる。476名から出資をいただき飯田市内の幼稚園など37ヶ所へパネル設置。民間と行政が協力した「新しい公共」のモデルとなる
2006年	3月	第1回自然エネルギー起業セミナー開催（人材育成事業は飯田自然エネルギー大学に発展）
2007年	11月	おひさま進歩エネルギー有限会社から、おひさまエネルギーファンド株式会社となる。新たに、おひさま進歩エネルギー株式会社を設立
2008年	1月	NHK番組「クローズアップ現代」に取り上げられて視察や取材依頼が増える
	6月	大手スーパーが全国の店舗におひさま発電所のための募金箱を設置
2009年	3月	環境省の3か年事業が完了。おひさま発電所が南信州地域を中心に160ヶ所以上になる
	3月	第7回「日本環境経営大賞」環境価値創造部門の大賞を受賞
	4月	「NEDO」「経済産業省」より「新エネ百選」に選定
2010年	1月	余剰電力買取制度を活用して個人宅向け「おひさま0円システム」募集開始
	2月	信州イノベーション大賞「環境ビジネス賞」受賞
	2月	「低炭素杯2012」で最優秀イノベーション賞を受賞
2012年	5月	国の固定価格買取制度（FIT）を活用して分散型メガソーラー発電事業「メガさんぽプロジェクト」募集開始
	6月	書籍「みんなの力で自然エネルギーを～市民出資による『おひさま』革命～」出版
	12月	「平成24年度地球温暖化防止環境大臣表彰」を受賞
2013年	7月	自社開発した太陽光発電遠隔監視システム「おひさまモニター」の販売開始
	5月	事務所を旧飯田測候所（飯田市馬場町）に移転
2014年	6月	駄科コミュニティ防災センターの太陽光発電事業が、飯田市の地域環境権条例に基づく「地域公共再生可能エネルギー活用事業」第1号に認定
	11月	個人住宅向けの太陽光発電普及事業「マイホーム発電所2014」を新たに募集開始
2015年	6月	「南信州おひさまファンド」のうちA号匿名組合出資の分配を計画通り完了
2016年	5月	地域主導型再エネ事業の人材育成を目指して「飯田自然エネルギー大学」を開校
	11月	売木村地球温暖化防止計画策定業務を受託。自治体の計画策定支援コンサルティングに参入

2018年	3月	おひさま発電所の電気を販売する地域新電力会社「飯田まちづくり電力株式会社」を、株式会社飯田ケーブルテレビ、株式会社飯田まちづくりカンパニーと共同出資して設立
	10月	野底川小水力発電事業の可能性調査を開始。流量観測や生物調査を行う
	11月	飯田まちづくり電力(株)が経済産業省より小売電気事業者として登録を受ける
2019年	4月	飯田まちづくり電力(株)が飯田市と「地域のエネルギーに関する包括連携協定書」を締結。7月から飯田市公共施設等へ電気の供給開始
	6月	ファンド募集を取り扱う第二種金融商品取引業を廃止
	7月	泰阜村防災拠点の設備整備事業を受託。村役場等へ太陽光発電設備、蓄電池、高効率空調、LED照明を導入
2020年	6月	2005年に募集した第1号「南信州おひさまファンド」、2010年に募集した「信州・結いの国おひさまファンド」が出資者への分配を計画通り完了
2021年	6月	営農型太陽光発電「山本ソーラーシェアリング」が発電開始
	1月	野底川小水力発電所の建設工事が着工
2022年	3月	事務所を飯田商工会議所鼎支所1F(飯田市鼎下茶屋)に移転
	6月	経産省補助事業に採択されてオフサイトPPA事業を実施。太陽光発電所22ヶ所(合計3MW)を建設。飯田まちづくり電力(株)を介して飯田市内の2事業所へ電力供給
2023年	9月	小水力発電の第1号事業「野底川小水力発電所」が営業運転を開始
2024年	12月	創立20周年を迎える。おひさまシンポジウム、記念式典を開催





# 会社概要

## おひさま進歩エネルギー株式会社

〒395-0802

長野県飯田市鼎下茶屋2242-2

(飯田商工会議所鼎支所1階)

T E L 0265-56-3711

F A X 0265-56-3712

U R L <https://ohisama-energy.co.jp/>

メー ル info@ohisama-energy.co.jp

創 業 2004年12月24日

設 立 2007年11月6日

資 本 金 650万円

### 運営体制

代表取締役 菅沼 利和

取 締 役 蓬田 裕一

取 締 役 谷口 彰

取 締 役 海部 岳裕

取 締 役 上沼 俊彦

監 査 役 小林 和博

顧問弁護士 河合 弘之

(さくら共同法律事務所)

## 事業サービス

飯田下伊那地域をベースに地球温暖化を防止するためのCO<sub>2</sub>削減事業をおこなっています。気候変動を抑えて持続可能な地域を築く、まちをつくる、新しいエネルギーをつくるのが私たちの使命です。

- ①省エネルギー事業（高効率機器の導入支援、エスコサービス）
- ②創エネルギー事業（太陽光発電、小水力発電などの再生可能エネルギー事業）
- ③蓄エネルギー事業（蓄電池と太陽光発電を組み合わせたシステム提供）
- ④コンサルティング（自治体のエネルギー計画策定、民間事業者の機器導入、補助金申請を支援）
- ⑤環境学習（保育園児から高校生への学習プログラム提供、インターン受入れ等）
- ⑥その他（飯田まちづくり電力と連携した電力小売による地域づくり等）

## VOICE

### おひさま進歩エネルギー株式会社

#### 代表取締役 菅沼利和



社員・役員のみなさん、出資者のみなさん、地球温暖化防止を目指す仲間のみなさん、持続可能な地域づくりを行うみなさん、地域のみなさんなど多くの方々に支えられ、20周年を迎えることができました。ありがとうございます。

10周年の2014年以後、新たな事業に取り組んできました。地域公共再生可能エネルギー活用事業、ソーラーシェアリング事業、オフサイトPPA事業、小水力発電事業、自治体向けのコンサルティング事業、飯田自然エネルギー大学などの環境学習事業です。また、電力小売り事業を飯田まちづくり電力㈱として実現することもできました。今後10年の基礎となる事業です。新たな事業を実施するなかで、志を共にする新たな仲間も生まれてきました。

この間、第二種金融商品取引業を廃業しなければならないという苦しい時期もありましたが、社員一同一致団結して乗り越え、発展することができました。

これからも新たな気持ちをもって、2050年ゼロカーボンと持続可能な地域の実現のため、さらなる飛躍を目指します。



おひさま進歩エネルギー株式会社  
創立20周年記念誌

まちをつくる。  
あたらしい緑のエネルギー

2024年11月20日 発行

[発行者] おひさま進歩エネルギー株式会社

[DTP] 龍共印刷株式会社

[印刷・製本] 株式会社グラフィック



この製品は、FSC®認証材、再生資源、およびその他の管理原材料から作られています。